

# 八戸で集団接種始まる

**新型コロナウイルス ワクチン**  
北奥羽  
八戸市は14日、市総合保健センターで高齢者向け新



接種後に約15分間の健康観察をする高齢者ら。集団接種初日は約300人が来場した＝14日、八戸市総合保健センター

型コロナウイルスワクチンの集団接種を開始した。初日は事前予約をした約300人が接種。21日以降は1日当たりの接種人数を約6

00人に増やすほか、26日からはYSアリーナ八戸でも実施する。7月末までに希望する全ての高齢者の接種を終える方針。

市内では、かかりつけの病院で実施する個別接種が先行して始まっている。集団接種は市立市民病院と八戸赤十字病院の医師、市医師会の開業医が接種を担当。看護師は青森労災病院から派遣され、八戸学院大看護学科の学生ボランティアも協力している。

会場は入場者と退場者が混同しないように一方通行の動線を確認。八戸薬剤師会と連携し、体調に不安がある人が相談できる窓口も用意している。

この日は、来場者が受け付け、予診、接種、接種済証の発行、健康観察の順で会場内を移動し、30分ほどで1回目の接種を終えた。かかりつけ医がないため集団接種を選んだという

男性(74)は「会場の移動がスムーズで分かりやすかった。接種できて気持ち良かった」と、ほっとした表情を見せた。

市保健所によると、14日現在で1万4千人の設定枠に対し、1万3千人が予約済みで7月11日の分まで埋まっているという。佐々木勝弘健康部長は取材に「希望者全てが接種できる態勢を整えている。社会的な免疫を獲得するためには一人でも多くの人が接種することが大切で、希望する人は忘れずに接種してほしい」と強調した。(三浦千尋)